

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

令和7年4月に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」について、このみや学園二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和7年4月17日（木）

※中学校理科については、二宮中学校は4月15日（火）、二宮西中学校は4月16日（水）

(4) 調査を実施した二宮町内の児童生徒数

	国語	算数・数学	理科
小学校（6年生）	185人	185人	185人
中学校（3年生）	181人	179人	185人

3 調査の結果について

(1) 教科に関する調査の成果と課題等について

【小学校】

	国語（14 問）		算数・数学（16 問）		理科（17 問）	
	平均 正答数	平均 正答率(%)	平均 正答数	平均 正答率(%)	平均 正答数	平均 正答率(%)
二宮町	9.2	66.0	9.2	57.0	9.7	57.0
全国公立	9.4	66.8	9.3	58.0	9.7	57.1

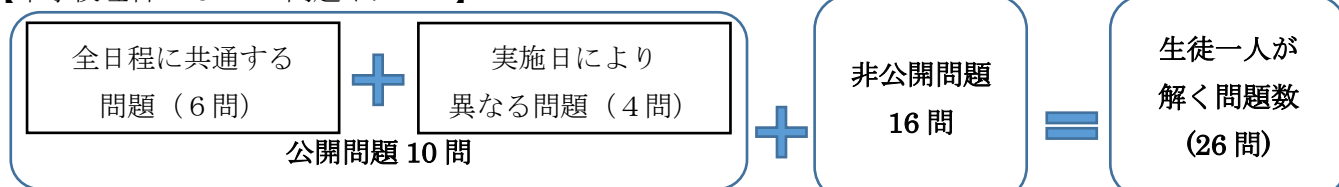
【中学校】

	国語（14 問）		算数・数学（15 問）		理科（6 問）*1	
	平均 正答数	平均 正答率(%)	平均 正答数	平均 正答率(%)	平均 正答数	平均 IRT スコア*2
二宮町	7.8	56.0	7.7	52.0	2.9	504
全国公立	7.6	54.3	7.2	48.3	2.9	503

*1 二宮町内の中学校で共通した問題数は、6 問である。

*2 児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論(Item Response Theory)。異なる問題からなるテストの結果や、異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる。

【中学校理科の CBT の問題イメージ】



IRTに基づく調査のイメージ

視力検査を例としたイメージ

※イメージを表すことを目的として作成したため、示された7つのランドルト環の大きさ（難しさ）がAさんとBさんで異なっている。

	素点方式（正答数・正答率）	IRT方式
得点(スコア)の表現方法	何個のランドルト環（C） を見ることができたか	どの大きさのランドルト環（C） を安定的に見ることができたか
得点(スコア)の例	 5問/7問 (正答率71%)	 0.2 < 0.3

素点方式の場合は、Aさんの方が正答数（見ることができたランドルト環の数）・正答率が高くなります。

IRT方式の場合は、Bさんの方がスコア（視力）が高くなります。

「中学校理科」 IRT を用いた結果返却に関する動画・リーフレット

「令和7年度全国学力・学習状況調査「中学校理科」IRTを用いた結果返却について」P3
 <文部科学省> https://www.mext.go.jp/content/20250711-mxt_chousa02-000043621-04.pdf

【小学校国語】

分類			区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国 との差
					二宮町	全 国	
全 体				14	66.0	66.8	－0.8
学 習 指 導 要 領 の 内 容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	71.6	76.9	－5.3	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	64.3	63.1	＋1.2	
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	81.1	81.2	－0.1	
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	3	62.3	66.3	－4.0	
		B 書くこと	3	71.2	69.5	＋1.7	
		C 読むこと	4	57.6	57.5	＋0.1	
評価の観点		知識・技能	4	72.2	74.5	－2.3	
		思考・判断・表現	10	63.1	63.8	－0.7	
		主体的に学習に取り組む態度	0				

【中学校国語】

分類			区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国との差	
					二宮町	全 国	今年度	小学6 年生時
全 体				14	56.0	54.3	+1.7	-3.6
学 習 指 導 要 領 の 内 容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	48.9	48.1	+0.8	-5.9	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0					
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0				-9.7	
	思考力、判断力、表現力 等	A 話すこと・聞くこと	4	56.6	53.2	+3.4	-1.3	
		B 書くこと	5	52.7	52.8	-0.1	-7.5	
		C 読むこと	3	63.7	62.3	+1.4	+0.6	
評価の観点		知識・技能	2	48.9	48.1	+0.8	-6.6	
		思考・判断・表現	12	56.8	55.3	+1.5	-1.9	
		主体的に学習に取り組む態度	0					

小学校の平均正答率は全国平均並み、中学校の平均正答率では全国平均をやや上回っています。特に中学校の「話すこと・聞くこと」については、良好な結果となっています。一方で、小学校の「話すこと・聞くこと」と基礎的な「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られます。

【良好な状況と考えられる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
中学校	1 一	40.3	35.2	変換した漢字として適切なものを選択する（かいしん）	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる
中学校	2 三	78.5	73.4	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる

【指導の改善が求められる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	1 一	48.1	53.6	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる
小学校	2 四 イ	62.2	72.1	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す（あつい日）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる
中学校	4 一	49.7	57.3	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる

【国語の質問項目について】

質問項目		小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	国語の勉強は得意である	62.7	61.4	62.1	51.4	
2	国語の勉強は好きである	62.1	58.3	70.0	57.9	53.8
3	国語の授業の内容はよく分かる	87.4	82.8	82.7	77.0	78.5
4	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.6	90.4	93.2	88.3	90.8
5	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	83.1	78.2	72.7	72.9	
6	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるよくなるかを教えてくれる	77.4	75.5	74.2	70.2	
7	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている	82.1	81.8			
8	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている	76.8	79.1			
9	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えている			81.6	74.0	
10	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えている			79.4	73.6	

○小・中学生ともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。

○「国語の勉強は得意である」「国語の勉強は好きである」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

○小・中学生ともに、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合は、90%以上と高い割合です。

○「国語の勉強が好きである」と回答した中学生の割合は、小学生時と比べて大幅に増加しています。

【小学校・算数】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国 との差
			二宮町	全 国	
全 体		16	57.0	58.0	－1.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	60.9	62.3	－1.4
	B 図形	4	55.1	56.2	－1.1
	C 測定	2	55.1	54.8	＋0.3
	C 変化と関係	3	58.7	57.5	＋1.2
	D データの活用	5	62.7	62.6	＋0.1
評価の観点	知識・技能	9	64.1	65.5	－1.4
	思考・判断・表現	7	48.5	48.3	＋0.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			

【中学校・数学】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国との差	
			二宮町	全 国	今年度	小学6年 生時
全 体		15	52.0	48.3	+3.7	－3.2
学習指導要領の領域	A 数と式	5	44.2	43.5	+0.7	－1.6
	B 図形	4	51.8	46.5	+5.3	－7.3
	C 関数	3	56.8	48.2	+8.6	－2.7
	D データの活用	3	58.5	58.6	－0.1	+0.4
評価の観点	知識・技能	9	56.7	54.4	+2.3	－2.1
	思考・判断・表現	6	44.0	39.1	+4.9	－4.5
	主体的に学習に取り組む態度	0				

小学校の全体の平均正答率は全国平均並み、中学校の全体の平均正答率では全国平均を上回る結果となっています。特に中学校の「図形」「関数」で良好な結果となっています。一方で、小学校の「数と計算」と「知識・技能」に課題が見られます。

【良好な状況と考えられる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
中学校	3	75.4	58.1	$\triangle ABC$ において、 $\angle A$ の大きさが 50° のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる
中学校	4	42.5	34.7	一次関数 $y = 6x + 5$ について、 x の増加量が2のときの y の増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる
中学校	6(3)	50.3	45.2	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる
中学校	7(1)	82.7	77.4	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかをみる
中学校	7(2)	63.1	55.9	Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる
中学校	8(1)	78.8	71.9	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる
中学校	8(2)	49.2	38.0	A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる

【指導の改善が求められる問題】

	問題 番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	2(2)	42.2	50.2	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる
小学校	3(3)	23.2	35.0	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる
中学校	5	29.6	42.5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、20m以上25m未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかをみる

【算数（数学）の質問項目について】

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	算数（数学）の勉強は得意である	56.3	60.3	38.4	46.0	
2	算数（数学）の勉強は好き	54.2	57.9	58.5	53.8	62.1
3	算数（数学）の授業の内容はよく分かる	78.5	78.3	73.7	70.3	76.5
4	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	89.5	91.6	75.8	75.2	90.3
5	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている	86.4	83.3	54.2	57.9	70.8
6	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている	87.9	82.3	80.5	76.2	77.5
7	算数（数学）の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	61.5	65.5	64.2	58.6	
8	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている	84.8	80.6			
9	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていますることを理解することができる			72.7	67.1	

○「算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○「小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている」と回答した小学生の割合は、全国平均を上回っています。

○「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていますることを理解することができる」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

●「算数（数学）の勉強は得意である」と回答した小・中学生の割合は、全国平均よりも下回っています。

【小学校・理科】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国と の差
			二宮町	全 国	
全 体		16	57.0	57.1	－0.1
学習指導要領の領域	A 「エネルギー」を柱とする領域	4	44.7	46.7	－2.0
	B 「粒子」を柱とする領域	6	50.2	51.4	－1.2
	C 「生命」を柱とする領域	4	55.8	52.0	＋3.8
	D 「地球」を柱とする領域	6	64.5	66.7	－2.2
評価の観点	知識・技能	8	54.9	55.3	－0.4
	思考・判断・表現	9	59.2	58.7	＋0.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			

【中学校・理科】 ※中学校・理科については、全日程に共通する問題（6問）のみ

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%) IRT スコア		全国との差	
			二宮町	全 国	今年度	小学6年生時
全 体 (IRT スコア)		24	504	503	+1.0	
学習指導要領の領域	A 「エネルギー」を柱とする領域	1	61.6	51.9	+9.7	−2.5
	B 「粒子」を柱とする領域	3	56.2	56.8	−0.6	+0.1
	C 「生命」を柱とする領域	1	24.9	29.7	−4.8	−1.1
	D 「地球」を柱とする領域	1	39.5	36.2	+3.3	−1.9
評価の観点	知識・技能	3	42.3	42.2	+0.1	−0.4
	思考・判断・表現	3	55.9	53.9	+2.0	−1.5
	主体的に学習に取り組む態度	0				

小・中学校の全体の平均正答率は全国平均並みとなっています。小学校の『「生命」を柱とする領域』については、良好な結果となっています。一方で、『「地球」を柱とする領域』に課題が見られました。また、中学校の『「エネルギー」を柱とする領域』については、良好な結果となっています。

【理科の質問項目について】

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	理科の勉強は得意である	71.1	78.4	49.5	50.7	
2	理科の勉強は好き	70.5	80.1	64.2	63.8	80.5
3	理科の授業の内容はよく分かる	84.2	88.9	74.2	71.4	85.7
4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	71.5	79.9	75.7	63.4	77.0
5	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う	21.6	30.0	23.1	21.7	28.7
6	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている	61.0	63.2	67.3	54.7	35.4
7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている	60.5	68.9	66.3	56.2	
8	理科の授業では、観察や実験をよく行っている	93.7	92.4	92.1	85.8	
9	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている	90.5	85.7	81.0	70.2	
10	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	87.9	88.4			
11	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている	75.3	76.0			
12	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できている			60.6	50.7	
13	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っている			74.3	68.4	

○中学生の割合は、多くの項目で全国平均を上回っています。

○特に、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている」「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関す

る疑問を持ったり問題を見いだしたりしている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようなものか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

○「理科の授業では、観察や実験をよく行っている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようなものか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

●「理科の勉強は得意である」と回答した回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

今後の対応について

学校に対して、令和7年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和7年7月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。

【国立教育政策研究所 HP】

URL: <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

QR:



（3）児童生徒質問紙調査の概況について

＜生活習慣や学習環境等に関する調査結果＞（抜粋）

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる、ときどきある」の回答を含む

1. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果（抜粋）

（1）基本的生活習慣等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	朝食を毎日食べている	93.7	93.7	89.5	91.2	94.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.7	81.9	79.0	81.0	83.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.6	91.0	92.6	92.6	89.7
4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている	80.5	80.0			

【主な特徴と考察について】

○朝食を取ったり、同じくらいの時間に就寝するなど規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同程度です。

○健康について学習したこと普段の生活に役立てている小学生の割合は、全国平均と同程度です。

- ・引き続き、朝ごはんを摂ることや規則正しい生活を送る良さや習慣づけできるよう引き続き指導していくことが大切です。
- ・基本的生活習慣の定着は、学校だけではなく家庭との連携も大切です。
- ・発達段階に応じた保健指導し、生涯にわたって健康な生活を送るための基盤づくりを進めていくことが期待されます。

(2) 家庭学習等

No	質問項目		小学校		中学校		
			二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	3時間以上	10.5	12.1	18.9	9.9	11.3
		2時間以上3時間未満	10.5	12.8	22.6	20.9	10.8
		1時間以上2時間未満	22.1	29.1	24.2	30.8	19.0
		30分以上1時間未満	28.4	27.4	12.1	19.1	31.8
		30分未満	17.9	12.9	12.1	11.3	17.9
		全くしない	10.5	5.7	10.0	7.7	9.2
2	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	4時間以上	8.4	7.4	5.8	5.3	7.7
		3時間以上4時間未満	1.6	4.4	11.6	8.5	4.1
		2時間以上3時間未満	6.8	9.7	20.5	18.7	9.7
		1時間以上2時間未満	17.9	25.6	22.1	25.4	23.6
		1時間未満	36.3	35.2	22.6	24.1	35.4
		全くしない	28.9	17.5	16.3	15.4	19.5
3	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている（オンライン授業の場合も含む）	学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている	27.9	22.6	24.2	19.1	
		学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている。	5.8	6.3	6.3	9.7	
		上記の両方の内容を教わっている	8.4	6.8	28.9	23.2	
		上記の両方の内容のどちらともいえない	5.3	8.2	3.7	4.9	
		教わっていない	52.1	55.9	34.7	40.2	

【主な特徴と考察について】

○平日に、「3時間以上」「2～3時間」勉強していると回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した小学生の割合は、約2人に1人の割合です。

○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した中学生の割合は、約3人に2人の割合です。

●平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

●中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

- ・児童生徒がより充実した学習にするためには、家庭学習の習慣が大切になります。
- ・学習習慣を身に着けるために、「スモールステップで始める」「決まった時間に特定の場所で学習する」などが有効です。
- ・学習習慣の差が、学力の二極化につながる可能性があります。

(3) 自己有用感、幸福感等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	自分には、よいところがあると思う	93.7	86.9	87.4	86.2	80.5
2	将来の夢や目標を持っている	85.3	83.1	62.1	67.5	76.9
3	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.9	96.4	91.1	90.9	92.4
4	学校に行くのは楽しい	91.1	86.5	77.4	86.1	77.4
5	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる	96.9	93.0	91.6	91.6	
6	これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある	82.6	80.6	80.0	75.7	66.6

【主な特徴と考察について】

○ すべての項目について小学校の割合は、全国平均を上回っています。

○ 「人の役に立つ人間になりたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。

○ 「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

● 「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

・「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した児童生徒は、学校での委員会活動や係活動や人との関わりなど日頃に「人の役立つことができた」という小さな成功体験の繰り返しが原因の一つと考えられます。

・「学校に行くのは楽しい」と思える学校づくりをするためには、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応をし、魅力ある学校づくりを進めていくことが必要であると考えられます。

(4) 他者、地域や社会とのかかわり等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	人が困っているときは、進んで助けている	95.8	93.7	91.1	90.4	85.1
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	96.3	92.2	95.3	92.2	86.7
3	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	98.4	97.2	92.7	95.9	93.3
4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	80.0	70.6	74.7	73.2	60.0
5	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	81.1	78.1	84.7	79.2	65.6
6	友人関係に満足している	91.1	91.7	91.6	91.4	
7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	90.5	87.4	84.8	83.8	
8	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	94.7	91.9	95.3	91.9	
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	88.4	81.3	71.5	75.3	49.2
10	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）	52.7	39.4	40.0	29.5	30.7

【主な特徴と考察について】

○小・中学生の割合ともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。

○特に、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

- ・児童生徒と友人や先生、学校にいる大人との関係が良好であると考えられます。
- ・地域の大人との関わりがあり、学校のボランティアやコミュニティスクールの活動が活発であることが見られます。

(5) 読書等

No	質問項目		小学校		中学校		
			二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	読書が好き。		66.4	69.7	67.9	61.6	70.2
2	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	2時間以上	8.4	6.4	5.8	3.6	9.7
		1時間以上2時間未満	8.9	8.8	7.9	6.0	9.7
		30分以上1時間未満	8.9	15.9	14.7	11.8	19.0
		10分以上30分未満	24.2	22.1	23.7	19.0	20.0
		10分未満	20.5	17.4	19.5	14.8	12.3
		全くしない	28.4	29.2	25.3	41.8	29.2
3	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）	501冊以上	6.3	4.3	6.3	3.0	7.2
		201 ～ 500 冊	14.2	10.2	12.1	9.4	15.9
		101 ～ 200 冊	15.3	16.4	18.9	14.8	26.2
		25 ～ 100 冊	39.5	32.2	35.3	30.8	31.3
		11 ～ 25 冊	18.9	21.7	15.3	21.5	11.3
		0 ～ 10 冊	5.8	15.1	10.5	17.4	8.2
4	新聞を読んでいる（ほぼ毎日と週に1～3回程度）		10.6	10.5	4.7	5.7	11.2

【主な特徴と考察について】

○「読書が好き」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○「学校の授業時間以外の1日で、読書を全くしない」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

○家庭にある本の冊数は、全国平均より多い傾向にあります。

●小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

- ・「読書が好き」と回答した中学生の割合が全国平均を上回っていることの要因としては、学校での朝読書で本に触れる機会があること、家庭にある本の冊数が全国平均よりも多いことが考えられます。
- ・読書習慣を身に付けるためには、児童生徒が興味関心のある本を選び、毎日少しずつ読むよう

指導していくことが大切です。

・新聞を読んでいない小・中学生の割合が多い理由としては、「新聞を読む時間がない。」「家で新聞をとっていない。」などが考えられます。

(6) ICT を活用した学習状況

No	質問項目		小学校		中学校		
			二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか	ほぼ毎日＋週3日以上 (ア)+(イ)+(ウ)	72.1	71.7	95.8	76.5	63.1
		ほぼ毎日 (ア)+(イ)	44.7	46.7	83.7	53.2	32.8
		ほぼ毎日 (1日に複数の授業で活用)(ア)	24.7	24.5	53.2	29.5	
		ほぼ毎日 (1日に1回ぐらいの授業)(イ)	20.0	22.2	30.5	23.7	
		週3回以上(ウ)	27.4	25.0	12.1	23.3	30.3
		週1回以上	22.1	18.0	1.6	15.7	26.7
		月1回以上	4.2	7.2	1.6	5.3	6.2
		月1回未満	1.6	3.1	1.1	2.0	4.1
2	自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができる		84.2	81.8	85.8	83.6	
3	自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる		94.7	89.8	90.0	91.5	
4	PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる		76.9	69.3	65.3	63.3	
5	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる		88.5	76.7	84.7	76.6	
6	ICT 機器 の 活用	（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	84.2	81.3			
7		（2）分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.6	89.2			
8		（3）楽しみながら学習を進めることができる	87.4	85.5			
9		（4）画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	88.4	88.1			
10		（5）自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	78.4	77.6			
11		（6）友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	86.3	84.6			
12		（7）友達と協力しながら学習を進めることができる	91.6	87.5			
13	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）	3 時間以上	6.3	4.0	4.2	2.7	
		2 時間以上、3 時間未満	5.8	4.6	4.7	3.2	
		1 時間以上、2 時間未満	6.8	11.0	5.3	7.8	
		30 分以上、1 時間未満	24.2	22.9	20.5	17.9	
		30 分未満	26.8	32.0	40.0	35.9	
		全く使っていない	30.0	25.4	24.2	30.3	

【主な特徴と考察について】

○「ほぼ毎日＋週3日以上(ア)＋(イ)＋(ウ) 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用している」と回答した中学生の割合は、全国平均を大きく上回っており95%以上と高いです。

○ICT機器を使って文章作成や情報整理、プレゼン作成ができると回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

- ・ICT機器を活用した授業が展開されています。特に中学生の授業では、ICTが日常的に使われています。授業の目的に応じてICT機器をより効果的に使うにはどのようにしたらよいか引き続き研究し、授業改善に努めていく必要があります。
- ・児童・生徒は、文章を作成したり情報を集めたりするなど基本的なICT機器の操作ができると自覚があります。

(7) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	88.9	80.3	85.8	77.7	75.4
2	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	80.5	77.8	80.0	70.6	64.1
3	自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	84.7	83.4	85.2	79.3	72.8
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	81.0	79.4	80.6	73.4	71.3
5	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	84.2	82.5	77.9	74.8	
6	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	86.3	82.3	95.3	79.5	75.4
7	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	79.0	83.3	84.2	84.3	59.0
8	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	77.4	80.8	81.6	77.3	66.2
9	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	87.9	88.0	92.1	91.5	78.4
10	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる	87.9	84.9	86.8	84.7	
11	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した	75.8	68.6	84.2	63.0	66.7
12	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていた	86.3	81.7	80.5	77.5	

【主な特徴と考察について】

○小・中学生の割合ともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。

○特に小学校の割合については、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。

○また、中学校の割合については、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を

大きく上回っています。

●学級活動に関する項目については、小学生の割合が全国平均を下回っています。

・9年間の学びを見通した小中一貫を意識した授業づくりし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んできました。小中学校の連携を継続的に取り組んできた成果が表れています。

・学級活動においても、「主体的」「対話的」を意識して学級経営していくことで、より充実した学校生活になります。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題を明らかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。